

認知症ケアの ノウハウ紹介

事例報告会

メディカル・ケア・サービス

上越市内4カ所で認知症高齢者対応の「愛の家グループホーム」を運営するメディカル・ケア・サービス(埼玉県)は22日、同市民プラザで認知症ケア

事例報告会を開き、各施設で取り組んできたノウハウを紹介した。昨年引き続き2回目。4事業所の担当者がレクリエーションの充実、ガーデニング療法

やタッチケアの導入、縄なれを通じた地域交流など、独自の実践例から入居者の心や施設内環境の変化などを報告。来場者約40人からも熱心な質問が上がった。

今回は北海道大教授と学生が開発した「ふまねっと運動」の体験会も実施。50坪四方のマス目でできた網を踏まないように歩くもの



で、歩行時のバランスや認知機能の改善効果が期待できるといふ。参加者は徐々に難易度

が高まるステップのパターンに歓声を上げ、楽しんだ。来場者には入居者手

作りのコースターやクッキーなどがプレゼントされた。

職員の指導で「ふまねっと運動」を体験。笑い声が上がった